

平成30年度 金沢ベーシックカリキュラム実践推進事業 報告書

学校名	研究課題	研究手法
金沢市立金石町小学校	算数	独自教材の開発

### 1 研究の重点と具体的な取組

○主体的に課題、教材に働きかけたり、積極的に意見を交流したりして、解決を試みようとする児童（授業を楽しむ児童）を育成する。

重点：導入場面、まとめる場面での独自教材の開発をする

- (1) 「子どもの実態に合っている教材」「年度が変わってもいつでも行える教材」「誰でも行える教材」「再確認・再試行できるよう何度でも行える教材」「自ら見通しを持ちやすい教材」等を独自教材の視点とし、開発・実践していく。
- (2) 工夫、開発した教材及び指導の実際の記録を蓄積していく。

### 2 取組の検証

- (1) 4、7、10、12月に実施した児童アンケート「算数の授業はわかりますか」「算数の授業は楽しいですか」
- (2) 7、10、12月に実施した教師アンケート「教師が楽しみながら独自教材の開発に努めている」
- (3) 開発教材の蓄積

### 3 成果と課題

#### 【成果】

- (1) 上記の児童アンケートにおいて、全体的にA評価が上昇傾向にある。実際の学習場面でも算数の時間を待ち遠しく思う姿や、学習中に前向きに取り組む姿も多く見られている。このことから、より楽しくよりわかる授業を目指して学年協働で教材研究を進めてきたことで少しずつ成果が見られつつあると考えられる。
- (2) 上記の教師アンケートにおける記述から、「子どもが笑顔だと楽しい」「一般的な教科書の内容を違う見方で見られたり、自分の引き出しを増やしたりできる」という肯定的な意見が見られた。
- (3) 独自教材事例集に実践をまとめていくことで、実践をふりかえることができ自信につなげることができた。また、独自教材の視点を「論理的に考えさせる」「必要感をもたせる」「疑問を生み出させる」「数理的な面白さを味わわせる」「見方や考え方を広げる」の5つに整理することができた。

#### 【課題】

- (1) 実践が学力の向上につながっているかという検証が十分ではない。学んだことを活用する教材につなげたい。また、教材開発にとどまらず、指導法の改善にも取り組む必要がある。指導法を模索しながら研究を進めていきたい。
- (2) 教師アンケートにおける記述によると「教科書の素材より効果的かどうか」「見通しが持てず時間がかかる」という意見も見られた。今年度の実践から整理された5つの視点をスタートに次年度の研究に取り組みたい。次年度は今年度の授業実践についても検証を行う。